



つながりを広げ 交流を深めます

しらさぎ会 第25代会長

森 利美



このたび、高知県立大学同窓会しらさぎ会会長をお引受けすることになりました。微力ではございますが、精一杯務めてまいりたいと存じますので、よろしくお願ひします。さて、1951年の結成から72年、しらさぎ会はその会員数も14,000人を数え、関東支部から九州支部まで、11支部を擁するものとなっておりです。ここ数年は、コロナ禍で活動が制限されていたとはいえ、各支部の皆様には会員相互の親睦を深めるとともに支部活動に取り組み、その様子は広報「しらさぎ」

でも紹介させていただいています。全国で高知女子大、高知県立大学の卒業生として多くの方々が活躍され、学生や大学への思いを伝えてくださったり、学生支援を実践されたりしていることを知り、これまでしらさぎ会の活動を十分理解していなかったことを恥じつつも感動をおぼえています。

今年5月には3年ぶりに対面とオンラインのハイブリット方式で定期総会を開催することができ、県内外の支部の方々と交流を図ることができました。同じ大学で学んだ卒業生のつながりや母校への思いを感じ、しらさぎ会の存在の大きさを痛感いたしました。

総会では名簿の作成等の課題もでしたが、それらの課題の解決も含め、理事会メンバーとともに、今年度は次のことを柱に取り組んでいきたいと思ひます。

- 1 県立大学学生への支援を図ります。
奨学金や学生生活活動支援等、

学生が安心して大学生活を送ることができるよう支援していきます。

- 2 会員同士のつながりを広げ、活発な支部活動を支援します。

支部活動支援を一層強化するための活動予算を増やし、積極的な支部活動を支援します。また、広報を通してしらさぎ会の活動を発信し、より多くの会員の方々の参加を図るよう努めます。

- 3 県立大学としらさぎ会の交流を深めます。

4月に甲田茂樹学長が就任され、新たな体制で大学がスタートされています。大学の現状を知るとともに、大学との交流を通してしらさぎ会の活性化のために何ができるのかを検討していきます。

今、高知は朝ドラ『らんまん』ブーム。私も御多分に洩れず、毎日欠かさずビデオを見ては、登場人物の言葉に感動をもらっています。牧野富太郎は実際に数々の名言を残しています。私は時々彼の言葉を思いだし、自分に渴

入れています。『人生まれて酔生夢死ほどつまらぬものはない。大いに力めよや、吾人！ 生きがいあれや吾人！』

理事会は本年度、新たなメンバーとなりました。今後も各支部・会員相互のつながりを大切にしながら、同窓会「しらさぎ会」が前進していくよう努力してまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

未来を拓く実践力を

しらさぎ会 名誉会長

学長 甲田茂樹



本年4月1日より学長を拝命した甲田茂樹です。学長就任にあたり所信を簡単に述べたいと思ひます。

本学の使命である未来を拓く実践力を強く意識しつつ、教育面では、現在のよう

なネット社会で、正確な情報リテラシーと公正な情報判断力、あらゆる科学的知見・技術に関する公正な情報入手・理解できる能力を身につけ、地域社会で活用できるスキルを獲得することを目指します。

研究・社会貢献面では、知識基盤社会を支えていく新たな知を創造する県民大学の名のもとに、広範な中山間地域を有し、深刻な少子高齢化が進行する高知県において、地域文化の発展・活性化や県民の健康と福祉を効率的に向上させるサービスをどのように提供していくのが課題です。本学の多彩な研究成果を社会実装し、健康情報DXを促進することによって、高知県や県民に貢献する学府を目指します。

最後に、公立大学としてのミッションを遂行するため、ガバナンス機能を強めていく必要があります。法規則や各種ガイドライン、社会規範などを遵守すること、大学運営教育・研究や社会貢献に関わる情報公開を徹底すること、大学に発生しうる危機・災害を想定してリスク管理できる大学を目指します。

「学制150年企画展 高知県立大学開学77年の歴史」



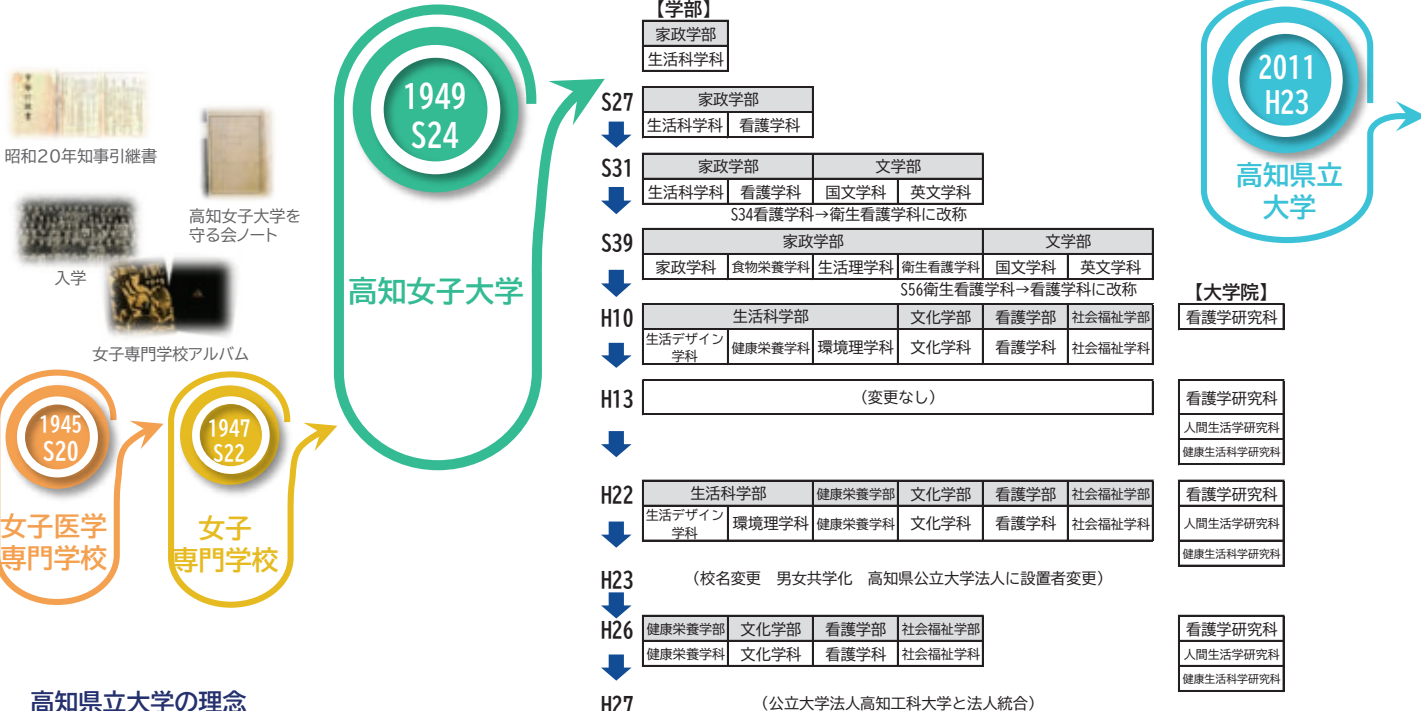
『詩の翼』

「*学制」が明治5年に公布されてから令和4年9月4日で150年を迎えました。文部科学省では150周年記念式典が執り行われ、高知でも学制150年企画展「女子医専から高知県立大学へ 開学77年の歴史」が開催されました。

出典 高知県立大学ホームページ
<https://www.u-kochi.ac.jp/>



高知県立大学が時代の要請に応えながら変革してきた道のりや学びの場の変遷が、文書、写真、映像などで紹介されていました。



高知県立大学の理念

本学は、平和な社会の発展及び人々の生活の質向上に向け、知の創造に寄与する学術研究を行うとともに、地域思考の教育研究を通じ、地域の文化の発展と健康・福祉の向上に貢献することを理念とします。



戦後 … 高度成長期 … 情報化 … デジタル化・仮想化へ

*『学制』はすべての人々が基本的な学校教育を受けられることを目指し、小学・中学・大学から成る学校制度を定めた、我が国最初の全国規模の近代教育法令です。

■文部科学省 学制百五十年史

https://www.mext.go.jp/b.menu/hakusho/1420041_00011.htm



ようこそ先輩 後輩の皆さん

菊地幸子さん (家政学科12回生 昭和54年3月卒業) 愛媛県在住

婚活応援しています



でした。子ども達が社会人として独立した時期でもあり、「楽しそうなボランティアだからやってみよう」と思い応募しました。

センターでは、パーティーや趣味活動等のイベント、一対一のお見合、独身の子を持つ親御さんや婚活に悩む方の相談会の三つを開催しております。そのお手伝いをしていきます。多人数のイベントでは孤立する人がいないようにそれぞれ背中を押し、お見合いでは初対面のお二人がスムーズにお話

私は「愛媛結婚支援センター」の婚活ボランティアを開設当初から続けており、今年で15年目になります。センターは、県から委託を受けた一般社団法人愛媛県法人会連合会が運営しています。(令和5年4月現在成婚1441組)

きつかけは、地元新聞の婚活ボランティア募集の小さな記事



方には定期的にメールで様子を聞き、悩みや相談がある時は知恵を絞って答えますが、余計なお節介はせず交際を見守ります。成婚報告では「センターがあったから私達は出会い結婚することができました!」と言っていたことができます。ボランティアをしていて良かったと思える瞬間です。

ボランティアの勉強会や交流会でそれぞれの経験やアドバイスを聞けるのも長く続けてこられた理由の一つだと思います。将来結婚に結びつくかもしれない方達の出会いの場に立ち会えるのは幸せなことです。一人でも多くの人に人生のパートナーに出会ってほしいので、これからも楽しみながらお世話を続けていきたいと思っています。

教師として生きた私、退職後は一市井人

下尾由美子さん (英文学科13回生 昭和47年3月卒業) 岡山県在住

退職後は一市井人

私が高知女子大学を卒業して早くも半世紀。55才で退職するまで33年間。産休、育休を除きずっと英語教師として働き続けました。

お陰で現在は年金を頂けて、田舎暮らしをしているんびりと過ごしております。

教師時代には、自分の入院こそないけれど、産後腰痛で何年もの病院通い、家族の病気や入院等、何度も大変な事がありました。特に子供の保育園時代には、あと何年と数えながら、歯をくいしばり耐え



抜きました。私がつつと仕事を続けられたのは、やはり英語を教える仕事が好きだったからです。国際化が進む中、世界で活躍する為には、最低限、英語は必要だと思っていました。

現在の私は、ガーデニング、カラオケ、体力増進の為にテニスと太極拳等、頭と体の両方を使う事を意識して、町の安い公民館活動に日々励んでおります。

丸岡伸子さん (生活理学科9回生 昭和51年3月卒業) 高知県在住

パソコンライフ楽しんでます！



シニア情報生活アドバイザーの活動を始めて15年になります。これは高齢者がパソコンやネットワークを利用して、より楽しく活動的な生活を送れるようにと経産省の外郭団体が同世代の指導者を育成し認定している資格です。仕事で使い始めたエクセルが面白くて、退職後もプロダミング等の勉強を続けていたところ、夫の転勤で移り住んだ徳島県美馬市でアドバイザー養成講座が開かれたのがきっかけで取得しました。その後一緒に受講した仲間と徳島のNPO団体の県西支部を立ち上げ活動を開始、今に至っています。

徳島の会は私が高知在住なので、毎月実施しているパソコン講習会の講師を年一担当している程度ですが、高知ではシニアのグループ他にパソコンを教えています。年賀状、旅行の写真などを動画にする、趣味のサークルのお知らせ作りや住所録作り等々、皆さんやりたいことが違っ

ていて、夫々に対応するテキストを作りまます。まず自分が理解していないとできないので、そのための勉強時間もいれると月2回の教室の準備に追われる毎日ですが、好きなことなので苦にはならず続けられています。この頃は「先生スマホを買ったけど使い方がようわからんき教えてや！」との声でスマホ教室が変わってしまうことも多くなっています。スマホも含めてデジタルの進歩は目まぐるしく、使いこなせないと生活しづらい世の中になってきています。これからも一緒に勉強して、少しずつでもデジタルのメリットを伝えていきたい、使いこなすお手伝いができればと思っています。



▲丸岡さんの作品です

ます。パソコンを教えること以外でも趣味として「シエイプアート」を楽しんでいます。これはワード等の「図形描画」機能を使って絵を描くもので、色々な形や線を組み合わせると花や鳥など、絵どころがなくても結構描けるところが気に入っています。アドバイザーと趣味と、私のパソコン(デジタル)生活はこれからも広がっていきそうです。

令和5年度 しらさぎ会の運営体制

名誉会長 甲田茂樹 (学長)
 顧問 五百蔵高浩 (副学長)、中野綾美 (副学長)
 【理事会】会長 森利美 副会長 佐田久美子、濱田久美子
 理事 稲垣佳代、門田直子、楠瀬美加、千光土教子、竹崎優子、田之頭恵里、廣内智子、本間ともみ、前田真衣、宮上多加子、村上和子
 監事 小松和加子、吉田久恵
 【会報編集委員会】
 広報担当理事 楠瀬美加、本間ともみ
 会報編集小委員会 仁尾郁、小松美鶴、森和美、前田来仁子

◆今年の「会員数」は掲載しないことにしました

今年の卒業生の住所は、個人情報保護の観点などから、卒業時点で提供してもらうことが困難でしたので、全員が高知の住所となってしまいます。そうなると高知県支部に多大な迷惑をかけることになります。それで掲載しないことにしました。

なお、大学本部へ行き住所を調べ、卒業生に会報は発送できるようになりました。

各支部ともいろいろなつてで卒業生の新住所がわかりしだい本部にお知らせ願いたいです。

わかりしだいホームページに支部会員数をアップします。



●令和5年度 事業計画 (総会承認)

1. 会議
 - 1) 総会 日時：令和5年5月20日 (土) 13:00~14:30
 場所：高知県立大学 永国寺キャンパス 教育研究棟
 総会后 支部交流会
 - 2) 理事会 定例理事会
 隔月第1土曜日14:00~
2. 事業活動
 - 1) 広報
 - ①会報「しらさぎ第56号」発行
 - ②「高知県立大学同窓会しらさぎ会」ホームページの更新
 - 2) 支部活動支援
 - 通信・活動費の補助 ○令和5年度各支部総会の開催
 - 3) 学生支援
 - ①奨学金50万円を1名に貸与
 - ②特例学生活動支援 10万円×20名
 - ③入学、卒業時のお祝いメッセージ・記念品贈呈
 - ④学生活動支援 (国際交流等に係る支援)
 - 4) 大学との交流会
 - 5) その他

しらさぎ会 ● 各支部だより

広島県支部

広島支部会開催の報告



●昨年の10月16日、第18回広島支部会を開催しました。「築城400年」で注目を集めている福山城周辺の街並み巡りがテーマです。案内を福山市立大学名誉教授・西川龍也先生にお願いしたところ、立派な資料も作ってくださり充実した一日でした。福山駅のすぐそばにあり「新幹線から見える城」として知られている福山城。その、城と町の成り立ちを知ることが出来ました。福山城下町の特色として、格子状の街割りであるとか、防衛的な機能よりも行政や商工業の拠点性を重視している…などを伺った後、天守閣内の博物館を見学。そして北側広場に移動し、天守北側の復元された鉄板張りの壁面を見上げました。敵からの攻撃に耐えられるよう1階から4階まで鉄板で覆われています。全国でも唯一のもので、これは福山駅側からは望むことができません。北側まで足を延ばしてこそです。その後、福山城周辺の街並みを散策しました。

10月中旬とはいえ強い日差しが降り注ぐ中、要所要所で説明を入れながら案内して下さった西川先生には心より感謝申し上げます。

さて、今回の支部会は会員の皆様への案内の内容がいつもと異なりました。それは、会員以外の方の参加も呼び掛けたことです。「都市の歴史」を専門とされている方が案内して下さるという機会を、ご家族やお友達と一緒に楽しんでもらいたいという思いからでした。参加人数はいつものながらの少人数(8名)でしたが、その内お二人がご家族とお友達でした。広島支部会は概ね観光地に出かけることが多く、昼食を挟んで懇親を深めるといふかたちをとってきました。ですから、これまでも会員以外の方の参加も可能だったわけですが、つつい「同

窓生みの参加」が頭から離れなかったのです。今回、二人の方が参加して下さったことで、何となく支部会開催の新しい方法が見えてきたように感じます。勿論、内容によって参加を会員のみに限定するか、会員以外も…と広げるかは、その時々で変わってくるでしょう。が、これからは「会員以外の参加もOK!」と気軽に参加していただけるような企画も検討項目に入れたいと思ったものでした。

また今回は、内容に興味を持って下さった初参加の方がいらっしまったことも嬉しいことでした。

広島支部会、次回は来年、開催予定です。何か良い案がありますでしょうか？

(支部長 ● 田中めぐみ / 国文学科9回生)



岡山県支部

令和4年度 支部総会の報告

●令和4年11月13日(日)3年ぶりの岡山支部総会を開催致しました。参加者、本部より吉川会長、森副会長の2名に岡山支部9名の計11名。会場はアークホテル2F食事処「あくら」に個室を用意していただきました。

当日はあいにくの雨に加え、こちらも3年ぶりの開催となった岡山マラソンと日程がかぶり、岡山駅前には交通規制による渋滞等で会場までお越し頂くにも難儀されたことでした。

とはいえ、ほぼ予定通りに支部総会を開始することが出来、ご挨拶いただいた吉川会長の土佐弁に支部会員一同なつかしさがこみ上げました。卒業して何十年たってもやはり学生時代を過ごした高知の地は心の故郷となっているようです。

会食を交えながら会員それぞれの近況報告、そして森副会長からのしらさぎ会本部活動の詳細などを聞かせて頂きました。

会話はとぎれることなく予定した3時間は盛況のうちに過ぎ去りました。吉川会長からは「支部総会は楽しい会にして下さいね!」とお言葉をいただき、小じんまりとした会ながらも今後もとぎれることなく続けていきたいと心に刻みしました。

令和5年度は11月下旬に開催を予定しています。会場は少し趣を変え倉敷で。岡山支部会員の皆様!ふるって御参加下さいませ。

(支部長 ● 平岩博子 / 国文学科21回生)

徳島県支部

しらさぎ会「徳島支部総会」へのご案内

●しらさぎ会徳島支部の皆様、いかがお過ごしでしょうか。大変ご無沙汰しております。今年は支部総会を開催します。ご案内を出せることに喜びを感じています。2018年8月に支部総会を開催し、翌年から新型コロナウイルスによる感染症が蔓延し、2回、つまり4年にわたって総会の開催を中止せざるを得ませんでした。

今年の開催時期等は、下記のとおりです。暑い時期です。今年も、猛暑の到来が案じられます。しかし、前回、学生さんにご参加いただき、活気のある総会になりましたので、今回も在学生をご招待したいと思い、夏休みの時期で、お盆に帰るころにしました。楽しいひと時を過ごしましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日：令和5年8月20日(日曜日) 11:30 - 14:30
 受付 11時から、会費 5,000円、学生 1,000円
 場所：ザ・グランドパレス 徳島
 (徳島市寺島本町西 1-60-1 電話：088-626-1111)
 内容：支部総会及び交流会
 (支部長 ● 多田敏子 / 衛生看護学科 19 回生)



前回2018年8月19日(日曜日)、▶
 名誉教授今西一實先生をお招きし
 ました

京阪神支部

京阪神支部 同窓会に初めて参加しました

●長かったコロナ禍での生活が一段落し、止まっていた時間を取り戻そうと活発に動き始められた方も多いのではないのでしょうか。

3年越しの同窓会が2022年11月3日大阪にて開催され、南裕子先生から卒業生の活躍や高知県立大学が果たしている役割を教えていただき、とても誇らしい気持ちになりました。また、笑いヨガリーダーの指導の下、みんなでマスクをしたまま、身体の動きとも合わせて笑いヨガを体験し元気をいただきました。参加者ひとり一人が近況報告をしたこともあり連絡先を交換する姿もありました。

大学の同窓会はなんだかハードルが高かったのですが、案内に同封されていた「はちきん便り」に感激し、お会いしたかった南先生のお話を聞けるチャンスだと思い参加しました。当日は、高知で過ごした4年間の大学生活の思い出を語りあう中で、世代を超えた繋がりが生まれ

る不思議な感覚がありました。授業や実習、サークル活動や、よく行ったお店など忘れてしまっていた記憶が蘇り、会が終わる頃には幸せな気持ちになっていました。

次回同窓会では、この「会報しらさぎ」を読まれているあなたにお会いできることを楽しみにしています。

(支部長 ● 寺西美樹 / 家政学科 23 回生)



高知県支部

これから、これから

●コロナ騒動も新たな局面を迎えました。

この3年間行動制限はありましたが、高知県支部では学生支援を中心に活動してまいりました。

3年目の令和4年度は、会員からの寄付金(¥483,000)で支援品を調達。前年度の反省も踏まえながら少しでも喜んでいただけるよう物品を選択したことです。簡単調理メモを渡したり、説明したりとまるで母親の気分で学生さんとの話が弾み、楽しい時間はあっという間に終了。学生さんの喜ぶ顔にホッとしたことです。

今回の学生支援活動は、高知県支部のみで実施した活動で小規模なものでした。本部を中心に全国支部に応援をお

願いする方法もあるのかなあと反省の声も出ましたが、この活動を通して、やがてやって来ると言われている南海トラフ地震等の災害時、私たちはどう助け合えるか、その対応も考えておきたいと思ったことです。

さて、令和5年度は会員相互の親睦を図ることに力を入れた「交流会・しらさぎの集い」からスタートです。

(支部長 ● 元吉正子 / 国文学科 10 回生)



香川県支部

支部活動に新しい風を



●香川支部定期総会はこれまで2年に一度開催してきました。令和3年は新型コロナウイルス感染拡大のため開催できませんでした。令和5年は開催の年。感染予防対策をしていけば、開催できる状況になってきているようです。

さて、香川支部は今まで活力ある同窓会を目指して活動してきました。令和5年の開催にあたり、「繋ごう 広げよう、活力ある同窓会」を目標に計画・実践しています。

◎努力目標を達成するための方法として

- ①同窓会への会員の希望・要望を聞く。
- ②役員との協力体制を築く。
- ③人々（会員同士、会員と役員）との繋がりを築く。
- ④役員を増員を図る手段を検討する。

◎努力目標達成のための実践として

- ①会員の同窓会への希望・要望を調査する。

平成28年度：出席したい企画は？
平成30年度：大学見学ツアー以外の企画は？

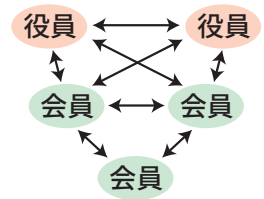


令和5年度総会の要望
大学からの来賓の講話

- ②ラインで役員間の意思疎通を図る。すでにラインを開設している。
- ③総会等を通じて時折、連絡を取りあい、親睦を図る。
- ④新役員への推薦を受け、電話等で連絡を取り役員依頼をする。

2年に一度の同窓会！

集まりの機会を共有して人々との繋がりを広め、深めていただけたら世話役としてこの上もなくうれしいことです。役員一同大勢の方のご参加をお待ちしています。



(人と人との繋がり図)



プレゼントを準備しています。

(支部長 ● 嶋村洋子 / 家政学科1回生)

しらすぎ会香川支部 総会のご案内

日時：令和5年11月25日(土)
 総会 10時30分～12時(受付10時より)
 懇親会 12時～14時
 場所：高松国際ホテル
 高松市木太町2191 087-831-7220
 来賓：副学長 五百蔵高浩氏
 会費：4,000円(内訳 懇親会3,000円・年会費1,000円〈年間500円2年分〉)
 連絡先：嶋村洋子 090-2895-2290

九州支部

災害とコロナを乗り越えて

●九州の皆さん、お元気でしょうか。

令和元年に久留米市で吉川会長をお迎えして支部会をしたのが最後で、コロナで何もできないまま4年が過ぎようとしています。

コロナの規制も緩和されてきましたので、この夏も一波があるのではと注意は出されていますが、秋頃に熊本市で開催できないかと思案しています。熊本の会員は36名で協力して取り組みます。7年前の熊本地震で半壊が2人その他が3人いましたが、修理は終わっていると思います。同級生からの声かけや、しらすぎ会からの調査に母校を身近に感じたとの声も。

おかげさまで熊本城をはじめJR豊肥線は早く復旧し、高森線の立野の鉄橋も完成しこの7月から開通します。

また、令和2年の熊本豪雨、人吉地方で大勢の方が亡くなりました。堤防の嵩上げなど進んでいますが、JRの鉄橋も線路もそのまま、肥薩線は不通のままです。今度は川辺川にダムを作る計画になっています。八代の発電所のダムが撤去されてまたダムの話に驚いています。

コロナが終息しておりませんので支部会は決まりしい通知します。用心してご参加をお願いします。ご意見ご要望は宮川まで(090-1519-0393)

(支部長 ● 宮川麗子 / 衛生看護学科14回生)

関東支部

関東支部の活性化目指して

●5月に開催されたしらすぎ会の総会に参加するために大学本部を訪ねました。半世紀前に通っていた大学の建物や構内の変わりようを見て、感慨深いものがありました。少子化、人口減少社会の中で、地方の大学の運営は大変だと想像しますが、総会での副学長の挨拶を聞きながら、これからの母校の発展に同窓会としてどのように

関わっていけるのか考えさせられました。この3年間のコロナ禍の中で、関東支部の活動はほとんどできませんでしたが、今年は関東支部の活性化を目指して活動していきたいと思います。

(支部長 ● 岡谷恵子 / 衛生看護学科19回生)

東海支部

小説家になって

● コロナも一段落。かと思えば、第9波到来とか。敵もさるもの。なかなか自由にはさせてくれません。もはやマスクは顔の一部となり、手洗いうがいとは日常の行為となりました。そんな中での同窓会活動をどうするのか。重い課題です。

今年、再会した場合、数年前の仲間たちがどれぐらい集まれるのでしょうか。前回の支部だよりも書きましたが、時間だけが静かに過ぎていき、その中で自分の人生は刻一刻と削られていきます。再会した時、どれぐらいの仲間が集まってくれるのか心配です。

今年の総会の折、地区同窓会の前に「はちきんだより」

を配布したというお話を伺いました。結果として多くの参加者があったとか。それはとてもすばらしい取り組みだと思いました。ちょっと真似してみようかな、東海の出す「はちきんだより」に何を載せようかな、などと考えていると、心が浮き立ってきました。

「誰でもが一度は小説家になれる。」それは自分のことを語る時だ。といいます。「人生で一番楽しかったことは何ですか」「忘れられない思い出の場所はどこですか」などと問われたら、どうか、小説家になったつもりで語ってください。

(支部長●山本眞理子/国文学科16回生)

愛媛県支部

第55回しらさぎ会愛媛の集い(支部総会)を終えて

● 「第55回しらさぎ会愛媛の集い」(支部総会)は令和5年6月25日(日)に道後山の手ホテルで開催し、4年ぶりに母校から来賓/講師をお迎えする事ができました。出席者は11人と少数でしたが、その多くは高知女子大の思い出とともに大学との繋がり感を強く感じていらっしゃる高齢の方々でした。当日は穏やかな曇り空でしたが、実は豪雨や猛暑の間隙を縫うような幸運に恵まれた一日でした。

支部総会は記念撮影、学歌斉唱の後、支部長からは大学のしらさぎ会総会の概要の説明、近年の愛媛支部活動の維持が困難になっている現状と問題の提起を行い、出席者からは、和洋折衷の美味しい食事を頂きながら、模範にしたいような健康生活の取り組みなど近況を伺うことができました。

社会福祉学部の学部長/長澤紀美子教授ならびに任意団体ソーシャルライ・コナツハット共同代表で支援活動を行っている浜口蓮先生による「多様な性の理解とLGBTQ+の人権課題 一国際動向を踏まえて」の合同講演は、わが国の「LGBT法」の成立時期と重なり、人権問題への関心や正しい知識・認識を持つことの大切さ、よき理解者とは?など、いろいろと学び考えさせられる有

意義なものでした。

支部総会の継続には、会員の皆様のご協力や、支部役員や幹事の新旧交代が必要ですが、難しくなっています。今回、社会福祉学部の卒業生に電話勧誘を試みましたが、電話番号や住所が変更され連絡がつかない方が多く、若い会員の皆様に参加していただく難しさも痛感しました。

◎毎年6月の第4日曜日は「しらさぎ会愛媛の集い」の日です。来年は家政学科の卒業生を中心に今治地区で開催予定です。皆様のお越しを心から願っています。

(支部長●伊賀上睦見/衛生看護学科16回生)



山口県支部

「支部総会に向けて思うこと」

● 山口県支部のみなさま、お元気ですか。

感染症がおさまったらと延期していた支部総会ですが、今年は開催予定です。しかしながら、人中に出ていく気持ちにはまだまだなれないという人も多いかもしれません。ですので、無理は言えません。そこで、参加できないは別として、案内状が届いた時には、返信のはがきを頑張って投函していただけたらうれしいです。よろしくお願いします。

前回の支部総会は、令和元年に宇部市で開催しました。この時には、予想していたよりも多くの返信をいただくことができました。案内状を読んで、考えて、書い

て、投函するって結構な手間です。おいそがしい中、気にかけてもらえたことを、本当にありがたく思いました。すでに転居されて届かなかった方もありました。一方で、ご家族の方が代筆してくださっていたり、転送して返信してくださった方もあって、かえってきてくれたはがきを手に感激したことを思い出します。

終わりに、みなさまの心身のご健康をお祈りします。何をするにも元気がないと。それぞれの場所で活躍しておられるみなさまへ。

(支部長●道中亜紀/国文学科35回生)

令和5年度 総会報告

日時：令和5年5月20日(土)
場所：高知県立大学 永国寺

キャンパス

教育研究棟 一階

参加：代議員27名(ウェブでの参加10名含)・委任状0名・理事14名・幹事2名

○学歌斉唱○五百歳副学長挨拶

○会長挨拶○来賓紹介○議長選出の後、議事に沿って進行

令和4年度事業報告

(1)会議について

①令和4年5月21日(土) 高知共済会館にて総会を開催。高知県支部以外はオンラインで出席



②理事会は計7回開催

(2)支部活動

●11支部中5つの支部が支部総会を開催。その他6支部は、新型コロナウイルス感染拡大により支部総会を中止、もしくは予定なし

●令和4年度は、11支部35都府県、8,825名の会員がおり、支部のない道県は12

●令和5年3月31日現在、会員数14,119名

(3)広報活動

①会報「しらすぎ第55号」発行

②高知県立大学同窓会しらすぎ会ホームページの更新

(4)学生支援

①国際交流支援は20万円を予算計上していたが、コロナ禍において実施されなかった

②奨学金貸与50万円×2名を予算計上していたが、希望者がなく未執行

③令和4年度特例学生生活動支援金給付10万円20名

④卒業式・修了式・祝電及びお祝いメッセージと名刺入れを贈呈。(卒業生数350名)

⑤入学式・祝電及びお祝いメッセージと校章を贈呈(入学生数372名)

総会での審議から

○総会だけではなくその他にも支部活動を展開しており、総会補助の費用だけでは足りないため支部活動に係る費用を補助していただきたい。

↓学生活動の支援に限定すると県外支部の活動支援が難しくなるため、しらすぎ会の趣旨に則った各支部の活動を支援できるように学生「等」を入れたい。と予算案に計上したところである。

○支部活動支援について、飲食は含まれないという説明があったが、総会に出席するためには参加費(ホテルでの飲食費含む)が必要であるため、それに充てられないか。また、総会に係る案内を各支部でどのように行っているか。

↓現在協議中のため詳細が決まるまで今しばらく待つて欲しい、と回答があった。また、総会に係る案内については、総会終了後の交流会で情報交換を行った。

○支部の人数について、減っている理由が知りたい。

↓令和4年の会員数は卒業生が含まれた人数となっているが、その後会報を発送すると所在不明が出てくるため各支部

で数名減っている。転居に係る情報が得られにくい状況がある。

○しらすぎ会基金について、これまでの経過や今後の計画を教えてください。

↓以前会員から500円を集め、同窓会会館を建てるという目的でそれを積み立てていたものが基金に移行していった経緯の説明があった。また、基金は何かあったときのために使うもので、予定はなかなか立てづらい状況である。

○しらすぎ会基金について、昔言われていたように同窓会会館を建てるという計画もなく、モニタメントも作ったという状況のなかで、何も話し合いがなされないままに約3,000万円が基金としてあるのはいいか。また、今年度の理事会で検討していきたい。意見・提案等いただきたい。

○会報について、以前写真を間違えるということがあった。昔は各支部に事前にゲラを送って確認していたが、そのようなことはできないか。

↓これまでではしていなかったが、今年度より実施したい、と回答した。

しらすぎ会連絡先

●事務局 (Fax・mail は常時)

☎ Fax 088 (872) 0580

mail : sirasagi@cc.u-kochi.ac.jp

● <https://www.u-kochi.ac.jp/~sirasagi/>

●事務局員勤務 木&金 9時30分～16時00分

●支部掲示板があります。ホームページをご覧ください。

●住所変更等、お知らせください!

住所不明者が多くなっています。

※同窓会費は終身会費として入学時に納入されています。

会報が届かないのは現住所不明等のためです。



住所変更のQRコード

令和4年度決算報告(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

Table with 5 columns: 項目, 令和4年度予算, 令和4年度決算, 増減, 備考. Rows include 繰越金, 会費, 利息, 奨学金返済金, 寄付金, その他, 合計.

令和5年度予算(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

Table with 3 columns: 項目, 予算, 備考. Rows include 繰越金, 会費, 利息, 奨学金返済金, 寄付金, その他, 合計.

一般会計・支出の部

Table with 5 columns: 項目, 令和4年度予算, 令和4年度決算, 増減, 備考. Rows include 総会, 支部支援, 学生支援, 広報, 理事会, 事務管理費, 予備費, 合計.

一般会計・支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算, 備考. Rows include 総会, 支部支援, 学生支援, 広報, 理事会, 事務管理費, 予備費, 合計.

しらさぎ会基金

Table with 5 columns: 項目, 基金総額, 令和4年度決算, 増減, 備考. Rows include 基金, 利息, 合計.

しらさぎ会基金

Table with 3 columns: 項目, 基金総額, 備考. Rows include 基金, 利息, 合計.

監査報告

領収書、出納簿、預金通帳等監査した結果、財務が適正に処理され、誤りなどの問題がないことを認めます。

2023年9月1日

会計監査

岡本真知子 柴田真弓

リーダー通信

訃報 お2人の方がご逝去されました

成田十次郎氏(元学長)

学長在任 平成8・4~平成14・10

藤村千賀氏(元食物栄養学科教授)

昭和37・11~平成8・3(令和5年2月亡)

人事消息

(敬称略)

退職(令和4年度)

野嶋佐由美

文化学部教授

東原 伸明

同准教授

吉川 孝

看護学部教授

森下 安子

同教授

山田 寛

同助教

坂元 綾

同助教

益 宏美

同准教授

宮上多加子

健康栄養学部教授

大松 重宏

地域教育研究センター

荒牧 礼子

同准教授

一色 健司

健康栄養学部教授

甲田 茂樹

同准教授

中瀬 将志

同准教授

小林 秀行

同准教授

立木 隆広

同准教授

中井 寿雄

同助教

村川 加理

同助教

豊田 邦江

同助教

加藤 昭尚

同助教

矢吹 知之

同助教

上杉 麻理

学生の皆さんの活動・思いなど

手話の会 映画会の報告



令和5年8月27日曜日に、しらすぎ会の助成金をいただき、高知医療センター2階くろしおホールにて、映画「咲む」の上映会を予定通り実施することができました。

上映の中では、聴覚障がい者である主人公が就職活動を通して苦戦している様子や、就職後も耳が聞こえないことで様々な壁にぶつかる様子が描かれており、参加して下さった方には、聴覚障がい者を取り

巻く環境や障害があるということがどれだけその人の日常生活に影響を及ぼしているのかについて理解を深めていただけたと考えます。

また、主人公と周囲の人々との関係性から、聴覚障がい者のみならず、障害に対して理解のある人が居ることの重要性、手話ができなければ何もできないということではなく、様々な方法でコミュニケーションをとることや関わっていく事ができるという広い視野を得ることにもつながったと考えます。

上映と聴覚障がい者の講演会を一緒に行ったことで、聴覚障がい者・手話をより身近に感じ、手話の必要性、理解拡大の重要性について学んでいただけたと考えております。

この度は助成をいただき誠にありがとうございました。

看護学部4回生 徳永 旭



災害看護学会 2022 報告

令和4年9月3日、高知で日本災害看護学会第24回年次大会を竹崎久美子大会長のもとオンラインで開催し、780名に参加頂きました。会長講演、特別・教育講演、シンポジウム、ワークショップ、交流集会等、画面を通じた有意義な学会となりました。ご支援を頂いたしらすぎ会に感謝申し上げます。学生交流集会に参加した学生は、「学生が主体となる災害関連の活動を行う団体が全国にあることを知ると同時に日々の活動を継続することの重要性や、地域の方とも交流しながら活動を行い顔の見える関係を築くことが、有事の際の円滑な活動につながることを実感した。今後、全国の防災・災害学生団体

と交流を行い、情報共有をしながら知識を高め合っていきたい。」等と、多くの学びを得ることができました。

看護学部長 藤田佐和



日本災害看護学会 第24回年次大会
交流集会3 学生×防災・災害×〇〇

- **交流集会企画**：高知県立大学
 イケあい 地域災害学生ボランティアセンター
 SIT 災害看護学生チーム
 UOK手話サークル
- **動画出演(ご協力、有難うございました。)**
 高知県立大学 立志社中 健援隊
 高知工科大学 KPAD
 高知大学 防災助っ人隊
 日本赤十字豊田看護大学 DMAC
 岩手大学 三陸委員会ここより
 日本DMAS 災害医療学生支援チーム

開示すべきCOI関係にある企業などはありません。



ぼうさいカフェ【実習；健康栄養フィールドワーク】を体験して

昨年実習の一環で高知市宝町公民館「いこいの家」で、『ぼうさいカフェ』の企画運営を経験しました。7月から9月の3回を学生で分担しました。

私が担当した8月では、「災害時の準備はできた？防災について学ぼう！」というテーマのもと、パッククッキングとビニール袋を使ったワークショップを行いました。(※パッククッキングとは、耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理方法です。)

パッククッキングでは、和風パスタと蒸しパンを作りました。試作では袋中のパスタ同士がゆでるとくっつきましたが、これは加熱後、ツナ缶の油と和えることで解決しました。蒸しパンは作り方が簡単なので、参加はありませんでしたが、子どもたちへの食育にも良いと思います。

ワークショップでは、ビニール袋の活用法についての企画でしたが、参加者の方から、エプロンの作り方を教えてもらう等、逆に多くのことを学びました。自身の経験や専門知識が活かせることは素敵なことだと思いました。

実習で学んだことを今後の学生生活、さらに生涯にわたって活かしていきたいです。

※和風パスタ、蒸しパンともに作り方を撮影していただいた動画が、高知県立大学の公式Youtubeに投稿されて

いるので是非ご覧ください。

健康栄養学部3回生 松浦由依



NHK朝ドラ「らんまん」の神木隆之介さんが松崎先生宅で土佐寿司づくりをしました



出典『かみきこうち』/ NHK出版 神木隆之介/著

和泉敬子さん(英文科6回生)が絵本を出版されました

絵本「ありがとう、ブランコさん
Thank you, My Swing」
文芸社 2022.10.15 刊
日本語・英語 文：和泉敬子
絵：mamizm
英語監修：Shan Reed



絵本「ありがとう、ブランコさん Thank you, My Swing」(文芸社)は、日本語と英語の二か国語で書かれております。日本語は、すべて「ひらがな」で書かれていますので、小さいお子さまから読むことができます。挿絵は、「静と動」のカラフルな色彩画で、子どもから大人まで想像力を広げつつ楽しんでいただけたらと思います。日本語・英文ともに文章が短いので、音読しますとリズムカルです。絵本の主人公「ゆづる」と「ブランコ」のお話を挿絵ともに楽しんでいただければと願っております。
Amazon 検索でご覧いただけます。(和泉敬子)

編集後記

「しらすぎ 第56号」をお届けします。新たな委員会メンバーで編集を行いました。私も初めて担当となり、編集会を5月から7~8回開いてきました。こんなに編集会を開くのかと驚きましたが、無事にお届けすることができほっとしております。なお、5月の総会で頂戴しました会報についてのご意見のように、今回、各支部などで事前に確認していただくよう改めました。みなさま、お忙しい中ありがとうございました。

(会報編集委員会)